岩手県におけるコシジロウミツバメの繁殖確認について New breeding place of Leach's Storm Petrel (*Oceanodroma leucorhoa*) in Iwate Prefecture.

佐藤 文 男 (Fumio Sato)

コシジロウミツバメは北太平洋に広く分布し、日本では北海道大黒島だけがこれまで繁殖地として知られていた。しかし、1987年7月に新たな繁殖地として、根室市ハボマイモシリ島が報告された(佐藤, 1987)。

本種はこれら以外にも北海道ユルリモユルリ島、岩手県日出島、三貫島、宮城県足島において夏期に標識放鳥されているが、これまでその繁殖は確認されていない。

著者は1988年7月30日、岩手県日出島においてクロコシジロウミツバメの巣内調査の際、1卵を抱卵しているコシジロウミツバメを発見し標識を付した〔リングNo. 3B-00736〕。その後、9月23日には青山一郎氏が再び巣内調査を行い、この巣にいたコシジロウミツバメの雛に標識を付した〔リングNo. 3B-21901〕。雛は約50日齢と考えられ、その体重は75gであった(Table 1)。

日出島はクロコシジロウミツバメの集団繁殖地として知られており、多数が営巣している(Fig. 1)。著者らは1976年から標識調査を目的に毎年継続して調査を実施してきた。しかし、コシジロウミツバメは調査の開始年から少数が捕獲されていたものの、これまで繁殖が確認されたことはなかった。ただし、1976年6月には捕獲した1羽のコシジロウミツバメが、調査中、鳥袋内で1卵を産卵したことがあり、本種が繁殖している可能性があると考えられていた。

日出島での本種の生息数は現在でも非常に少なく、かすみ網を用いた標識調査ではクロコシジロウミツバメの捕獲数の3.5%程度にすぎない。従って、その繁殖数も極くわずかなと考えられるが、巣の場所や、繁殖生態がクロコシジロウミツバメと全く同様のため、その繁殖数を推定することは難しい。

図1. 日出島 Fig. 1. Hide Island.

Table 1. Measurements of *Oceanodroma leucorhoa*

足環番号 Ring No	性・齢 Sex, Age	自然翼長(mm) Natural Wing	尾長(mm) Tail	跗蹠(mm) Tarsus	嘴峰(mm) Exp. Culmen	体重(g) Body Weight	卵重(g) Egg Weight	卵サイズ(mm) Egg Size
3B-00736	U A	151.0	84.8	24.6	17.5	—	8.5	33.6×23.5
3B-21901	U P	—	—	—	—	75	—	—